

目 次

今後の土地改良事業の動向と機械化について……………野 知 浩 之… 1
 昭和 36 年度各省事業の概要 (その 2)

IV 昭和36年度農林省農地局関係公共事業の概要…善 木 正 敏… 2

V 昭和36年度日本道路公団の事業概要……………藤 森 謙 一… 8

パイロットファームの近況について……………前 島 申 次…12

八郎潟干拓事業について……………坂 本 正…17

イランにおける建設工事について……………高 橋 衛…21

昭和 35 年度における建設機械の技術導入 について…船 橋 敬 三…24

欧州の旅(その 1)—モンブラントンネル……………小 竹 秀 雄…27

黒四ダムのパイブローダについて……………野 瀬 正 儀…32
 山下 嘉 治

第 1 回 2 級建設機械施工技術検定を終えて……………田 村 正 直…37

パワーショベルの掘削特性について……………武 内 幹 男…41

最近の全自動バッチャプラント電装品……………方 波 見 速 雄…45

ヨーロッパの建設機械などについて (その 2)……………玉 井 正 彰…49

掘削機構の解明 (I) (その 2)……………島 昭 治 郎…53

除雪座談会……………北 海 道 支 部…57

除雪機械検討会……………東 北 支 部…60

「抄訳」

BLUEPRINT For' 61……………後 藤 浩 平…62

「支部便り」

新機種発表並びに工事現場見学会開催……………北 海 道 支 部…66

ニュース……………(編 集 部)…67

国産建設機械主要諸元表 (その 5, 6)……………田 中 康 之…68
 後 藤 浩 平

行事一覧・編集後記……………(寺 島・長 瀬)…72

◇表紙写真説明◇

株式会社 酒 井 工 作 所 製

サカイ・アンマン 205 型アスファルトフィニッシャ

株式会社酒井工作所ではフィニッシャとして斯界の注目を浴びているスイス・アンマン社の同製品との技術提携に成功し、生産を開始した。同機の主なる特長は次の通りである。①1人で操作できる小型軽量の可搬式であり、輸送、運転、保守が極めて経済的に行なわれる。②他機種に比べて価格が低廉である。③本機はアスファルトフィニッシャとしてだけでなく、その他の路盤骨材のスプレッドとしても十分な能力を有する。

主 要 諸 元

総長さ (けん引かん付)	約 4,800 mm	最 大 施 工 厚	最大 150 mm
総 長 さ	＊ 3,080 mm	施 工 能 力	150~500 m ² /h
総 高 さ	＊ 1,700 mm	送 り 速 度 1 速	2.15 m/min
総 幅	＊ 2,400 mm	2 速	3.70 〃
重 量	＊ 2,020 mm	機 関 出 力	8 PS/3,000 rpm
最 大 施 工 幅	＊ 2,050 mm	タ イ ヤ 寸 法	600×9-10 PR

(上記のほかに施工幅 3 m の 304 型も併行して検討中である)